

— 調査概要 —

【調査目的】加古川市・稲美町・播磨町（以下、1市2町）の全死亡者における在宅看取りの実態や1市2町および隣接自治体の医療資源との関係性等を把握する。また、将来の在宅医療の需要を推計し、1市2町の在宅医療体制を検討するための基礎資料とする。

【対象】人口動態調査の死亡小票データ

2018年1月1日～2020年12月31日に死亡した1市2町の9,627件

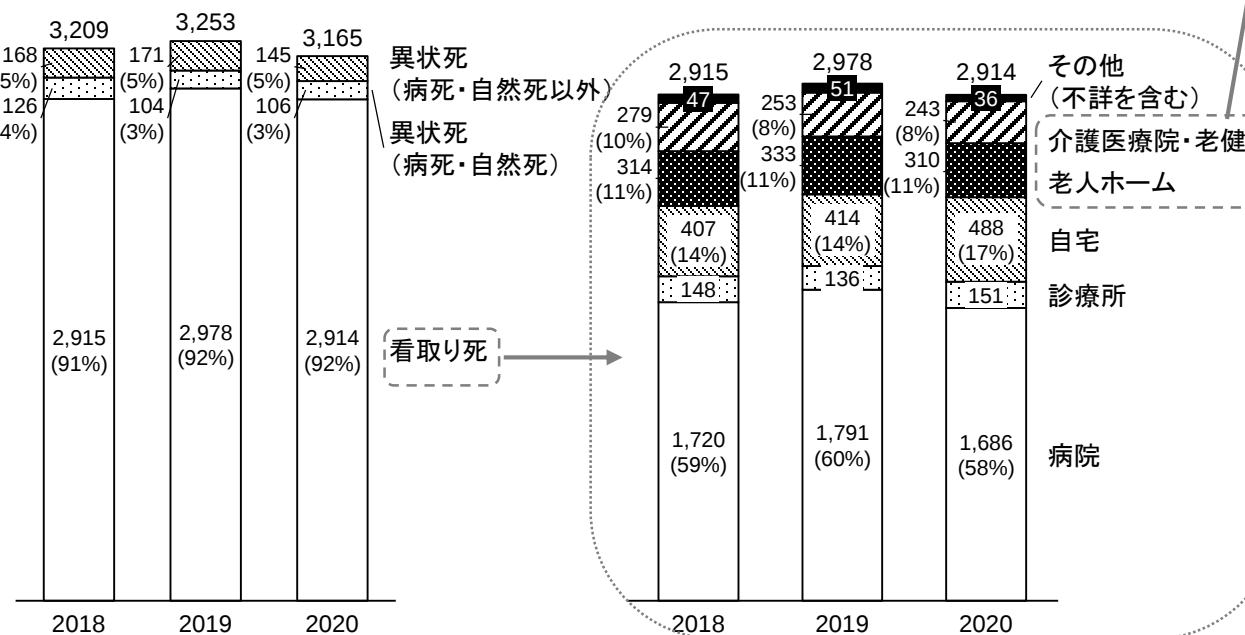
※看取り死：病死・自然死のうち医師（監察医・嘱託医以外）が死亡診断書を発行したもの。

※異状死：看取り死以外の病死・自然死のほか、交通事故等での死亡のうち、監察医・嘱託医が死体検案書を発行したもの。

死亡者数

- ✓1市2町の死亡者数は横ばいで推移している。
- ✓看取り死は約90%、異状死（病死・自然死）約4%、異状死（病死・自然死以外）5%で推移し、大きな変化はない。
- ✓看取り死場所の比率に大きな変化はない。病院の比率は約60%で推移、自宅の比率が14%から17%に増加した。

看取り死数



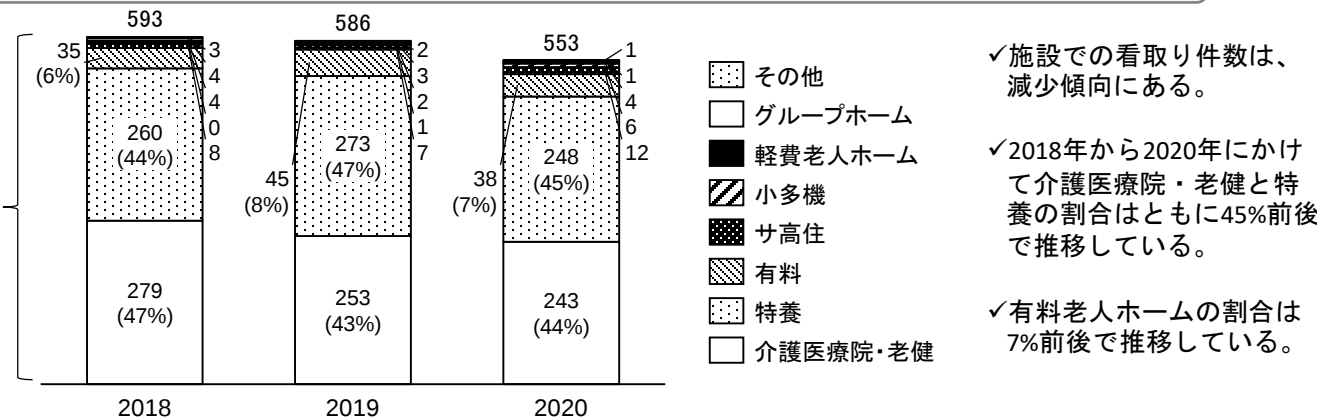
在宅療養支援診療所・病院の在宅看取りの現状（2020年）

- ✓2020年に最も在宅看取りをした在宅支援診療所（以下「在支診」）の種類は在支診2の158件（53.6%）で、看取りを行った7か所の平均看取り数は22.6件/年である。
- ✓在支診の届出をしていない医療機関でも35か所が76件（25.8%）を看取っている。

届出の種類	届出数	看取り対応数 括弧内は届出数に対する比	看取り件数
在宅療養支援診療所1	0か所(0.0%)	0か所(-)	0件(0.0%)
在宅療養支援診療所2	7か所(3.2%)	7か所(100.0%)	158件(53.6%)
在宅療養支援診療所3	25か所(11.4%)	13か所(52.0%)	57件(19.3%)
在宅療養支援病院1	0か所(0.0%)	0か所(-)	0件(0.0%)
在宅療養支援病院2	0か所(0.0%)	0か所(-)	0件(0.0%)
在宅療養支援病院3	1か所(0.5%)	1か所(100.0%)	4件(1.4%)
届出なし	186か所(84.9%)	35か所(18.8%)	76件(25.8%)
合計	219か所(100.0%)	56か所(25.6%)	295件(100.0%)

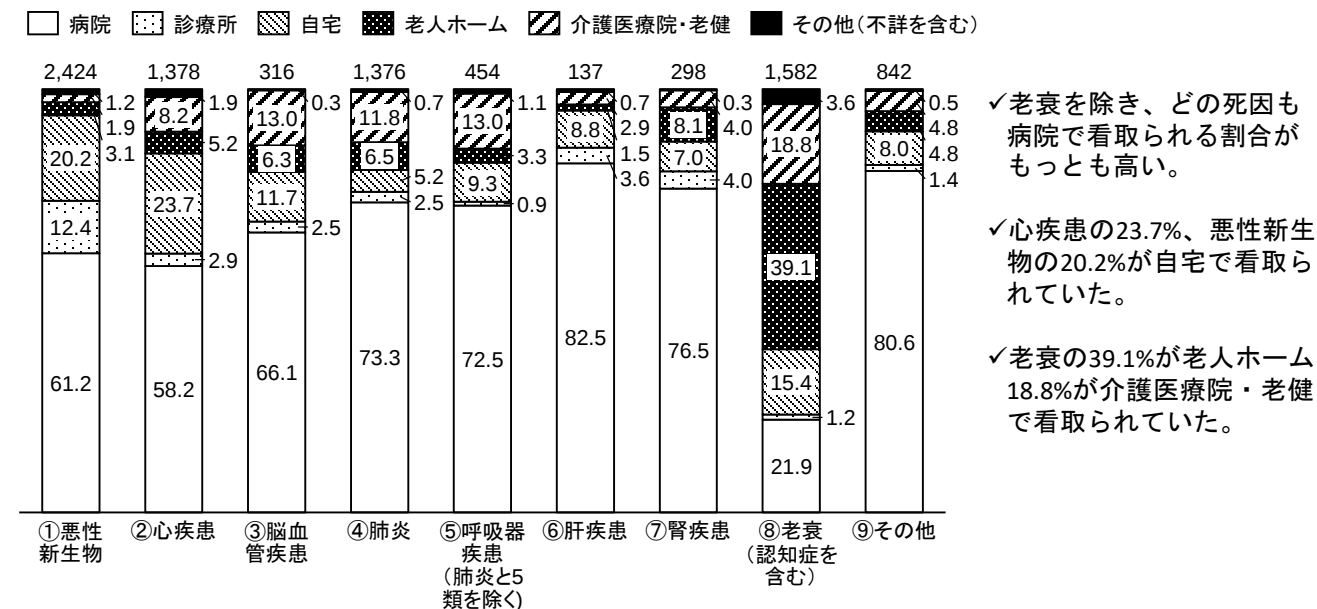
※届出は2021年3月現在

施設（老人ホーム・介護医療院・老健）看取り死数



- ✓施設での看取り件数は、減少傾向にある。
- ✓2018年から2020年にかけて介護医療院・老健と特養の割合はともに45%前後で推移している。
- ✓有料老人ホームの割合は7%前後で推移している。

死因ごとの看取り場所の割合（2020年）



- ✓老衰を除き、どの死因も病院で看取られる割合がもっとも高い。
- ✓心疾患の23.7%、悪性新生物の20.2%が自宅で看取られていた。
- ✓老衰の39.1%が老人ホーム、18.8%が介護医療院・老健で看取られていた。

将来死亡者数推計

